

第2学年 音楽科学習指導案

- 1 題材 ようすをおもいうかべて歌おう
 2 教材 「小ぎつね」 勝 承夫 作詞／ドイツ民謡
 3 指導に当たっての考え方

| 教材分析 | |
|---|--|
| <p>楽曲「小ぎつね」は、山の中で移りゆく季節の情景と、小ぎつねが見せる愛らしい様子を歌った曲である。 特徴的な要素は以下の通りである。 歌詞：1番は秋、2番は冬の到来、3番は冬ごもりの場面で、山の季節の変化と小ぎつねの愛らしい様子が表されている。第1フレーズの、小ぎつねの鳴き声と反復フレーズ部分で、小ぎつねが過ごしている場所がわかる。 リズム：第1フレーズ</p>  <p style="text-align: center;">第2フレーズ</p>  | <p>・第3フレーズは</p>  <p>旋律：第1フレーズはなめらかな山型の旋律で、第2・第3フレーズは、順次進行の下降型の旋律になっている。 強弱・速度：強弱や速度の変化をつけることで、小ぎつねが会ういろいろな場面や、想像した小ぎつねの気持ちを伝える表現ができる。 以上のような教材であるので、歌詞の表す情景や想像した小ぎつねの様子にふさわしい表現の仕方を工夫することができる教材であると考えます。</p> |

| 児童の実態 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の歌声タイムや音楽の学習の中で、口をしっかりと開けて歌おうとする子は多いが、曲の気分を感じながら、自分なりの思いをもって表現しようとするはまだ十分ではない。 ○ 曲の気分をとらえることはできるようになってきているが、歌詞や旋律の流れ、リズム等を意識して歌ったり、とらえた曲の気分を、表現につないで歌ったりできている子は少ない。 ○ きれいな声、響きのある声で歌いたいという思いをもっているが、そのために呼吸や発音の仕方に気をつけて歌うことができている子はまだ少ない。 |

| 聴く活動を中心とした主な支援 | 自分の思い | 指導内容 |
|--|---|--|
| <p>楽曲の気分や特徴を聴く聴く活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 範唱CDの聴き取り ○ 縦書き歌詞、情景画、拡大楽譜の提示 ○ 小ぎつねのお面の使用 ○ 小ぎつねの身振りの取り入れ ◎ 歌い方の工夫がされたCDの聴き取り | <p>つかむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小ぎつねの様子を歌で表したい。 ・かわいい小ぎつねの気持ちになって歌いたい。 ・1番と2・3番の歌い方を変えたい。 ・次の時間は、もっと歌い方の工夫をしたい。 | <p>曲の気分を感じ取って、小ぎつねの様子を思いうかべながら歌い、表現への思いをもつこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歌詞を覚え、正しい発音や音程で歌うこと ○ 1番と2・3番の季節と、小ぎつねの様子が違うことに気づき、違いをとらえること ○ 1番と2・3番で、歌い方を変えた方がよいことに気づくこと ○ 歌い方の工夫がされたCDから、工夫されていることを聴き取ること <p>小ぎつねの様子をよりよく表現するために、歌い方の工夫をすること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 聴き比べや歌い比べをしながら、表現の工夫をすること |
| <p>思いに沿った歌い方を工夫するための聴く活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 縦書き歌詞、情景画、拡大楽譜の掲示 ◎ 強さや速さの変化の聴き比べ・歌い比べ | <p>深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強さや速さに気をつけて歌い方を工夫したい。 | <p>自分たちの表現の高まりを実感すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 練り上げた表現を発表して互いに聴き合い、友だちの表現のよさに目を向けること ○ 自分たちが練り上げた歌い方で歌い浸ること |
| <p>思いを込めた表現を味わい、音楽のよさを感じ取るための聴く活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 工夫した歌い方で小ぎつねの様子を表すことができたかどうかの聴き合い | <p>味わう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌い方の工夫ができた。 ・歌い方を工夫すると小ぎつねの様子がよくわかった。 | <p>自分たちの表現の高まりを実感すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 練り上げた表現を発表して互いに聴き合い、友だちの表現のよさに目を向けること ○ 自分たちが練り上げた歌い方で歌い浸ること |

| 題材目標 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 小ぎつねの様子を思い浮かべながら、小ぎつねの気持ちになって歌おうとしている。(関心・意欲・態度) ○ 秋から冬へ移り変わる山の様子や想像した小ぎつねの気持ちを表現するために、強弱や速さの変化など、歌い方を工夫して歌うことができる。(感受・表現の工夫) ○ 歌詞の特徴を生かして、自分の歌声および発音に気をつけて歌うことができる。(表現の技能) |

4 指導計画(2時間)

| | つかむ① 本時 | 深める・味わう①本時 |
|-----------|---|---|
| ねら | 歌詞内容や挿絵から曲の気分を感じ取って、小ぎつねの様子を思いうかべながら歌い、表現への思いをもつことができる。 | 場面ごとの小ぎつねの様子の違いを表現するために、歌い方の工夫をすることができる。 |
| 指導内容 | ○歌詞の表す情景や小ぎつねの様子を想像し、曲の気分を感じ取ること ○歌詞を覚え、正しい発音や音程で歌うこと ◎こんなふうになりたいという表現への思いをもつこと(イ) | ◎1, 2, 3番の小ぎつねの山や穴の中での様子を、こんなふうになりたいという表現への思いをもち、歌い方を工夫すること |
| 主な学習活動と内容 | 1 楽曲「小ぎつね」と出会い、本時学習のめあてについて話し合う。 (1) 範唱CDを聴き、曲の気分について話し合う。【聴く活動①】 ○小ぎつねのかわいい様子が歌われた、楽しい感じのする曲であること (2) 本時学習について話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">小ぎつねのようすを思いうかべながら歌おう</div> | 1 前時学習「小ぎつね」をふり返り、本時学習のめあてについて話し合う。 (1) 「小ぎつね」を歌い、前時学習を想起する。 ○歌詞や情景画をもとに、1番, 2・3番の小ぎつねの様子や気持ちを想像して歌うこと ○1番, 2・3番で様子が変わっていることを確認すること (2) 本時学習のめあてについて話し合う。 ○1番と2・3番の歌い方を工夫すること <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">小ぎつねの様子が表れるように歌い方を工夫して歌おう</div> |
| | 2 表現にむけての思いをふくらませながら歌う。 (1) 範唱CDに合わせ、「小ぎつね」を正しく歌う。 ○歌詞を覚えること ○正しい発音や音程, リズムで歌うこと ○繰り返しの部分は、変化をつけて歌うこと (2) 小ぎつねの様子を思いうかべながら歌う。 ○1番, 2・3番, それぞれの小ぎつねの様子をつかむこと 1番…秋の山の中で、元気に楽しく遊んでいる小ぎつね 楽しそう・嬉しそう うきうきしている 2・3番…冬になり、遊ぶこともできずに考えている小ぎつね 何をしようか考えている 困っている 雪が溶けるのを待っている 退屈そう ○1番と2・3番の歌い方を変えた方がよいことに気づくこと | 2 小ぎつねの様子に着目して、歌い方の工夫をする。 (1) 小ぎつねの様子が表れるように、1番と2・3番の歌い確かめる。【聴く活動③】 ○1番の歌詞に着目して、様子が表れるように歌い方を工夫すること 1番……明るくはずんだ感じ 少し強く 少し速く ○2・3番の歌詞に着目して、様子が表れるように歌い方を工夫すること 2・3番…なめらかな感じ 1番より、少しゆっくり 弱く なめらかな感じで |
| | 3 本時学習のまとめとして歌い、次時学習への思いをもつ。 (1) 本時学習のまとめとして歌う。 ○1番と2・3番の小ぎつねの様子の違いを表そうとして歌っていること (2) 範唱を聴き、次時学習について話し合う。【聴く活動②】 ○場面ごとの小ぎつねの様子がもっと表れるように、速度を工夫し、歌を練り上げていくこと | (2) 1番と2・3番を続けて歌い、様子を工夫した歌い方になっているか確かめる。 ○友だちが工夫した歌い方になっているかを聴くこと ○工夫したところを一緒に歌い、表現を練り上げること |
| | | 3 「小ぎつね」を歌い、学習をまとめる。 (1) 練り上げた工夫を生かした表現で歌ったり、友だちの表現を聴いたりする。【聴く活動④】 ○工夫した歌い方で歌うこと ○友だちの表現のよさに目を向けること (2) 場面の様子を思い浮かべながら歌うことができるようになったこと、そのよさを感じ振りかえる。 ○めあてが達成できたか振り返ること |

5 本時 つかむ段階 (1 / 2)

6 本時の目標

歌詞内容や情景画から曲の気分を感じ取って、小ぎつねの様子を思いうかべながら歌い、表現への思いをもつことができる。

7 準備 教師：範唱・伴奏 CD, 拡大楽譜, 縦書き歌詞, 情景画, 小ぎつねのお面

8 本時指導の考え方

本時学習では、歌詞の表す情景や小ぎつねの様子を思いうかべながら、こんなふうに歌いたいという表現への思いをもつことが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手だてをとりながら学習を進めていく。

- まず、楽曲に出会う場面で、縦書き歌詞と情景画を提示して範唱 CD を聴き、誰が出てきて、どんな感じのする曲かを感じ取らせ、本時学習のめあてについて話し合わせる。

【聴く活動①】について

| ねらい | 手だて | 期待する子どもの様子 | | | |
|--|--|--|--|---|---|
| 誰が出てきて、どんな感じのする曲か、曲の気分を感じ取らせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・オーケストラ版の範唱 CD。 ・どんな感じのする曲であるかを考えながら聴くという、聴き取る内容を明確にして範唱 CD を聴かせる。 ・どんなところから感じたか、歌詞や情景画を根拠にできるよう、縦書き歌詞と情景画を提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">三</p> <p>花も なし きれいな もようの ぬうにも ぬえず かればの きものじゃ ふゆの 山 ふゆの山</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">二</p> <p>つげの くし もみじの かんざし おけしようしたり 草のみ つぶして 山の中 山の中</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">一</p> <p>小ぎつね コンコン 山の中 山の中 草のみ つぶして おけしようしたり もみじの かんざし</p> </td> </tr> </table> </div> <p style="text-align: center;">子ぎつねの絵 1 子ぎつねの絵 2 子ぎつねの絵 3</p> | <p style="text-align: center;">三</p> <p>花も なし きれいな もようの ぬうにも ぬえず かればの きものじゃ ふゆの 山 ふゆの山</p> | <p style="text-align: center;">二</p> <p>つげの くし もみじの かんざし おけしようしたり 草のみ つぶして 山の中 山の中</p> | <p style="text-align: center;">一</p> <p>小ぎつね コンコン 山の中 山の中 草のみ つぶして おけしようしたり もみじの かんざし</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・小ぎつねが出てきた。 ・小ぎつねのかわいい感じがするな。 ・楽しそうな感じがするな。 ・「草のみつぶしておけしよう」っていうのが楽しそうだな。 |
| <p style="text-align: center;">三</p> <p>花も なし きれいな もようの ぬうにも ぬえず かればの きものじゃ ふゆの 山 ふゆの山</p> | <p style="text-align: center;">二</p> <p>つげの くし もみじの かんざし おけしようしたり 草のみ つぶして 山の中 山の中</p> | <p style="text-align: center;">一</p> <p>小ぎつね コンコン 山の中 山の中 草のみ つぶして おけしようしたり もみじの かんざし</p> | | | |

- 次に、口の開け方や発音の仕方を指導したり、ハンドサインで音の高低を示したりしながら、正しく歌えるように繰り返し歌う。歌いにくいところや音程のとりにくいところは、取り出して繰り返し歌わせるようにする。


- さらに、歌詞内容や情景画に立ち戻っていきながら、場面ごとの小ぎつねの様子について話し合い、小ぎつねの様子を思いうかべながら歌う。その際、小ぎつねの気持ちになれる雰囲気を出すため、お面をつけて、身振りも入れながら歌うようにする。また、時間が経過していったことを感じ取らせるため、間奏の部分に教師がナレーションを入れる。その中で、1番と2・3番とを同じ感じで歌っているようであれば、話し合った小ぎつねの様子を振り返り、歌い方を変えた方がよいことに気づかせるようにする。

- 最後に、本時学習のまとめとして歌う。そして、歌い方が工夫されたCDを聴かせ、小ぎつねの样子の違いを表すために、自分たちの表現に取りいれるとよさそうな工夫を聴き取らせ、それをよいと感じた理由も発表させながら、次時学習への具体的な思いを持たせる。

【聴く活動②】について

| ねらい | 手だて | 期待する子どもの様子 | | | |
|--|--|--|---|---|---|
| 次時学習への具体的な思いを持たせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・歌い方が工夫されたCDを聴かせ、自分たちの表現に取り入れたい工夫を聴き取らせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">三</p> <p>花も なし きれいな もようの ぬうにも ぬえず かればの きものじゃ ふゆの 山 ふゆの山</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">二 間奏</p> <p>つげの くし もみじの かんざし おけしようしたり 草のみ つぶして 山の中 山の中</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">一</p> <p>小ぎつね コンコン 山の中 山の中 草のみ つぶして おけしようしたり もみじの かんざし</p> </td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">少しゆっくり・なめらかなかんじで</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">少し速く・はずんで</div> </div> </div> | <p style="text-align: center;">三</p> <p>花も なし きれいな もようの ぬうにも ぬえず かればの きものじゃ ふゆの 山 ふゆの山</p> | <p style="text-align: center;">二 間奏</p> <p>つげの くし もみじの かんざし おけしようしたり 草のみ つぶして 山の中 山の中</p> | <p style="text-align: center;">一</p> <p>小ぎつね コンコン 山の中 山の中 草のみ つぶして おけしようしたり もみじの かんざし</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・2, 3番の方が1番よりゆっくりした歌い方だったよ。小ぎつねが困って考え込んでいるからかな。 ・3番の最後がだんだんゆっくりになっていたから、一生懸命考えているみたいだな。 ・次の時間は、こんな工夫もして歌いたいな。 |
| <p style="text-align: center;">三</p> <p>花も なし きれいな もようの ぬうにも ぬえず かればの きものじゃ ふゆの 山 ふゆの山</p> | <p style="text-align: center;">二 間奏</p> <p>つげの くし もみじの かんざし おけしようしたり 草のみ つぶして 山の中 山の中</p> | <p style="text-align: center;">一</p> <p>小ぎつね コンコン 山の中 山の中 草のみ つぶして おけしようしたり もみじの かんざし</p> | | | |

9 展開

| 学習活動と内容 (○) | 主な支援・学習活動における評価規準(※) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----------------------|---------|-------|--|-----|-----|------|--|---------|---------|---------|--|------|-------------|------|-------|----------|--------------|--|------|--|
| <p>1 楽曲「小ぎつね」と出会い、本時学習のめあてについて話し合う。</p> <p>(1) 範唱CDを聴き、曲の気分について話し合う。 【聴く活動①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小ぎつねのかわいい様子が歌われた、楽しい感じのする曲であること <p>(2) 本時学習について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">小ぎつねのようすを思いうかべながら歌おう</div> <p>2 表現にむけての思いをふくらませながら歌う。</p> <p>(1) 範唱CDに合わせ、「小ぎつね」を正しく歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歌詞を覚えること ○ 正しい発音や音程、リズムで歌うこと ○ 繰り返しの部分は変化をつけて歌うこと  <p>(2) 小ぎつねの様子を思いうかべながら歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1番, 2番, 3番, それぞれの小ぎつねの様子をつかむこと <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2">< 秋 ></td> <td colspan="2">< 冬 ></td> </tr> <tr> <td>山の中</td> <td>山の中</td> <td>あなの中</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 10px;">小ぎつねの絵①</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 10px;">小ぎつねの絵②</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 10px;">小ぎつねの絵③</td> <td></td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">元気に楽しくあそんでいる</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">あそぶこともできず、考えている</div> </div> <table style="width: 100%; text-align: center; margin-top: 10px;"> <tr> <td>楽しそう</td> <td>何をしようか考えている</td> </tr> <tr> <td>嬉しそう</td> <td>困っている</td> </tr> <tr> <td>うきうきしている</td> <td>雪が溶けるのを待っている</td> </tr> <tr> <td></td> <td>退屈そう</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1番と2・3番の歌い方を変えた方がよいことに気づくこと <p>3 本時学習のまとめとして歌い、次時表現への思いをもつ。</p> <p>(1) 本時学習のまとめとして歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1番と2・3番の小ぎつねの様子の違いを表そうとして歌っていること <p>(2) 範唱を聴き、次時学習について話し合う。 【聴く活動②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 場面ごとの小ぎつねの様子がもっと表れるように、速度を工夫し、歌を練り上げていくこと | < 秋 > | | < 冬 > | | 山の中 | 山の中 | あなの中 | | 小ぎつねの絵① | 小ぎつねの絵② | 小ぎつねの絵③ | | 楽しそう | 何をしようか考えている | 嬉しそう | 困っている | うきうきしている | 雪が溶けるのを待っている | | 退屈そう | <p>・どんな感じのする曲であるかを考えながら聴くということを伝えて聴かせる。どんなところから感じたかの手がかりとなるよう、縦書き歌詞と情景画を提示しておく。「かんざし」「つげのくし」など、分からない言葉については教師が説明する。</p> <p>・拡大楽譜を提示する。</p> <p>・口の開け方や発音の仕方を指導したり、ハンドサインをしたりして、正しい発音、音程で歌うことができるようにする。</p> <p>・「やまびこ」を例に出し、教師の範唱の聴き比べで、繰り返しの部分は、歌い方を変えた方がよいことに気付かせる。</p> <p>・縦書き歌詞と情景画から、季節や小ぎつねのいる場所を確かめ、それぞれの場面の小ぎつねの様子をとらえさせる。</p> <p>・小ぎつねの気持ちになれる雰囲気を出すため、お面をつけて身振りも入れながら歌わせるようにする。</p> <p>・時間が経過していったことを感じ取らせるため、間奏の部分に教師がナレーションを入れる。</p> <p>・歌い方が工夫されたCDで、小ぎつねの様子の違いが表れるようにするために、自分たちの表現に取り入れるとよさそうな工夫を聴き取らせ、次時表現への具体的な思いをもたせるようにする。</p> <p>※場面ごとの小ぎつねの様子がもっと表れるようにするための、次時表現への具体的な思いをもっている。</p> |
| < 秋 > | | < 冬 > | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 山の中 | 山の中 | あなの中 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小ぎつねの絵① | 小ぎつねの絵② | 小ぎつねの絵③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 楽しそう | 何をしようか考えている | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 嬉しそう | 困っている | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| うきうきしている | 雪が溶けるのを待っている | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 退屈そう | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

5 本時 深める 味わう段階 (2 / 2)

6 本時の目標

歌詞の表す様子を思い浮かべ1番と2・3番の歌詞にふさわしい表現の仕方を工夫することができる。

7 準備 教師：範唱 CD, 拡大楽譜, 縦書き歌詞, 情景画
児童：筆記用具・お面

8 本時指導の考え方

本時は、楽曲の歌詞の中に表された情景や小ぎつねの様子を想像し、1番と2・3番の様子の違いを感じとって、その違いを表現するために強弱や速さ、歌い方の工夫をして表現を練り上げていくことが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手だてをとりながら学習を進めていく。

- まず、前時学習を想起し、かわいい小ぎつねを正しく歌わせる。そして、小ぎつねの様子が、1番と2・3番で違ったことを確認し、前時学習のまとめで使ったCDを再度聴かせることで、1番と2・3番の違いを表して歌いたいという思いをもたせ、本時学習のめあてについて話し合わせる。
- 次に、1番と2・3番の小ぎつねの様子に入り込めるように、情景画をもちいて小ぎつねの様子を考える。1番は、草の実つぶしてお化粧していることから、「楽しい」「うきうきしている」などの楽しい気持ち、2番・3番は、枯れ葉の着物じゃ縫うにも縫えないことから、「つまらない」等の気持ちや、大きなしっぽはじゃまにはなることから、「退屈だな」「何をしようかな」と少し困っている気持ちなどを出させる。
- さらに、その様子に着目をしながら、1番は、秋の山の中で元気に楽しく遊んでいるので、明るく弾んだ感じで歌うなど、工夫の仕方を考えていく。また、2番では、ぬうにもぬえないから少し元気がないので弱く、少しゆっくり歌いたいや3番では、大きなしっぽはじゃまにはなるしと退屈しているので少しゆっくりで元気も無いから弱く歌いたいなど感じながら歌っていく。そして、1番と2・3番とを歌い比べ相互評価を通しながら様子の違いがはっきりわかるように表現を練り上げていく。

【聴く活動③】について

| ねらい | 手だて | 期待する子どもの様子 |
|--------------------------------|---|---|
| 小ぎつねの様子を想像して1番、2・3番の歌い方の工夫をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ どのように歌うか、情景画に着目させながら試し歌いをさせ、1番と2・3番で違いが表れているかどうか、聴き役をたてる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>三</p> <p>花もなし 小ぎつね あなの中 あなの 大きなしっぽは じやまにはなるし こくびをかしげ かんがえる</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>二</p> <p>ふゆの山 かればのきものじ ぬうにもぬえず きれいなもようの 小ぎつね コンコン</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>一</p> <p>小ぎつね 山の中山の中 草のみつぶして おしましたり もなじのかさし つげのくし</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">困って考えている</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">楽しく遊んでいる</div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1番と2・3番の歌い方の違いが表れない場合は、教師の範唱による聴き比べをさせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌詞が繰り返される時は、変化をつけるといいなあ。 ・ 1番は、「元気よく楽しく遊んでいる小ぎつね」だから、明るく弾んだ感じや強く、速く歌おう。 ・ 2番は、「遊ぶものがなくて困っている小ぎつね」だから、弱く、ゆっくり歌おうとしたり3番は、「穴の中で遊べないまま、考え込んでいる小ぎつね」なので、静かになめらかに、そして、弱く、考えるをゆっくり歌いたいな。 |

- 最後に、工夫したことを歌声にし、表現できるようになったことを確かめるために2つのグループでお互いの歌声の聴き合いや工夫したことを確かめ歌う。そして、学級全体で歌う。工夫したことが歌声に生かせてないときは、その部分を繰り返して歌い確かめながらまとめる。小ぎつねを歌い味わうためにナレーションを入れ時間の経過を感じさせ、工夫した表現を生かして歌う。

【聴く活動④】について

| ねらい | 手だて | 期待する子どもの様子 |
|-----------------------|--|--|
| 友達の歌い方の工夫やそのよさに目を向ける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の歌声を聴き合う。 ・ 聴く観点を明確にして聴くようにする。 ① 小ぎつねになりきって歌っているか。 ② 工夫した歌い方が歌声で歌えたか。 ・ 表現の工夫ができていたか教師による評価をし表現の高まりを賞賛する。 ・ 達成感や満足感がもてるように、1番と2・3番の間にナレーションを入れ歌い浸らせる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 小ぎつねになって、1番と2・3番を工夫して歌うことができたよ。 ・ 1番と2・3番を工夫して歌うと小ぎつねの様子がよくわかったよ。 ・ お話が入ると小ぎつねの様子がよくわかったよ。 |

9 展開

| 学習活動と内容 (○) | 主な支援・学習活動における評価規準(※) |
|--|---|
| <p>1 前時学習の「小ぎつね」をふり返り、本時学習のめあてについて話し合う。</p> <p>(1) 「小ぎつね」を歌い、前時学習を想起する。 ○ 歌詞や情景画をもとに、1番、2・3番の小ぎつねの様子や気持ちを想像して歌うこと。 ○ 1番と2・3番で様子が変わっていることを確認する</p> <p>(2) 本時のめあてをつかむ。 ○ 1番と2・3番の歌い方を工夫すること</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 小ぎつねの様子が表れるように歌い方を工夫して歌おう </div> <p>2 小ぎつねの様子の変化に着目して、歌い方の工夫する。</p> <p>(1) 小ぎつねの様子が表れるように1番と2・3番の様子を歌い確かめよう。 【聴く活動③】 ○ 1番の歌詞に着目して様子が表れるように、歌い方の工夫をすること</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> 小ぎつね絵① </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> ・秋の山の中で元気に楽しく遊んでいる小ぎつね ・楽しそうに ・嬉しそうに ・うきうきしている </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">➡</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・明るく弾んだ感じ ・少し強く ・少し速く </div> </div> <p style="margin-left: 40px;">○ 2・3番の歌詞に着目して様子が表れるように、歌い方を工夫すること</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> 小ぎつね絵② 小ぎつね絵③ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> ・冬の山で遊べなくて困っている小ぎつね ・穴の中で考え込んでいる小ぎつね </div> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">➡</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ・1番より少しゆっくり ・弱く ・なめらかな感じで </div> </div> <p>(2) 1番と2・3番を続けて歌い、様子を工夫した歌い方になっているか確かめる。 ○ 友だちが工夫した歌い方になっているかを聴くこと ○ 工夫したところを一緒に歌い、表現を練り上げる。</p> <p>3 「小ぎつね」を歌い、本題材学習をまとめる。</p> <p>(1) 工夫を生かした表現で歌ったり、友達の表現を聴いたりする。 【聴く活動④】 ○ 工夫した歌い方で歌うこと ○ 友達の表現のよさに目を向けること</p> <p>(2) 場面の様子を思い浮かべながら歌うことができるようになったこと、そのよさを感じ振りかえる。</p> | <p>・前時提示した「小ぎつね」の縦書き歌詞や情景画を見ながら歌うことで、1番2・3番の小ぎつねの様子や気持ちを想起させる。</p> <p>・前時の最後に聴いたCDで、本時学習の見通しをもたせる。</p> <p>・はじめに1番と2・3番についてどのような歌い方をしていくかを話し合い、その考えに基づいて歌わせる。</p> <p>・工夫した歌い方について、教師の評価を適時入れていく。</p> <p>・情景に合う歌い方の違いが表現できない場合は、教師の範唱で聴き比べさせ工夫の観点に気づかせる。</p> <p>・小ぎつねの様子の違いが表れる歌い方になっているか互いに聞き合い、歌い方の工夫を確かめる。</p> <p>・歌い方の工夫を確かめて歌わせる。</p> <p>・何度か歌う中で教師の評価を適時入れていく。</p> <p>・表現を工夫したことが歌声に生かされていないときは、その部分を繰り返し歌い確かめる。</p> <p>・1番から2番の間にナレーションを入れ時間の経過を感じとらせる。</p> <p>※ 速さや、強弱を意識しながら、1番と2・3番の小ぎつねの様子に合わせた歌い方の工夫ができています。</p> <p>・表現の工夫ができていたか教師による評価をし表現の高まりを賞賛し達成感や満足感がもてるようにする。</p> |